

# 革新的な研究開発テーマ創出と 開発マネジメント

～マクロトレンド分析、顧客価値発想、技術の棚卸し、大粒テーマ量産体制を目指して～

《開催要領》

●日 時● 2014年 10月30日(木) 13:00～17:00  
●会 場● 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

講師 株式会社如水 代表取締役 中村大介氏 (弁理士)



**講師紹介**  
東京大学大学院修了。日本電気株式会社(NEC)に入社。主にIT業界で新商品・新規事業開発を手掛ける。2003年株式会社スクウェア設立(共同創業)。ITコストベンチマーク事業「SLR」、内部統制コンサルティングサービス等の様々な新規事業を立ち上げる。その後、製造業、IT企業の新規事業開発支援のコンサルティング業務に従事し、研究開発戦略、知財戦略、事業戦略、営業戦略等のプロジェクトを実施。現在は、企業の技術者、管理職等の人材開発を支援するために社内ビジネススクールを提供しながら、引き続き企業の戦略策定を支援している。

《開催にあたって》

「ライフサイエンス」、「バイオ」などのバズワードでテーマを決めた気になってしまう。棚卸した自社技術の延長線を都合よく解釈してテーマがなんとなく決まってしまう。そんなことがないだろうか? 「敗戦」が叫ばれるエレクトロニクスの業界では、蓄積してきた技術がコア技術(収益を生み出す技術)ではなくなった所もある。エンジニアが中心となった技術イノベーション的な発想だけでは、テーマが小粒化し、容易に追いつかれてしまう。革新的・大粒のテーマを考案するにはどうすればいいのか? 従来の研究者にない視点が求められているのは言うまでもない。回答の方向性は、「技術イノベーションを核としつつ、中長期的な視点でマーケット・顧客に対して提案すること」である。本セミナーでは、それを実現するためのエンジニア個人の能力や組織の仕組みはどうかあるべきかを解説する。

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX:03-5215-0951

\*申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。  
\*申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■受講料:1名(税込・資料代含)

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

141539-1010 革新的な研究開発テーマ創出と開発マネジメント			
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属	職 職	
E-mail			

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。  
後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。(「TOP」→「公開セミナー」→「よくあるご質問」)

※お申し込み後のキャンセルはお受けいたしかねますので、代理の方のご出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail:kawamorita@bri.or.jp  
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31M Tビル 2F

## 革新的な研究開発テーマ創出と開発マネジメント

10/30  
(木)

13:00

- 日本企業を取り巻く環境の変化
  - (1) 技術で勝って事業で負けていた時代 (2) 事業で負け続けている時代
  - (3) エンジニアとマーケティングの近接 (4) 顧客価値の創造
- 事業テーマを発想するための方法論とは何か?
  - (1) 他社事例からの類推
    - ・サービス化 (Komatsu) ・徹底便利 (Amazon)
    - ・マクロトレンド分析起点 (Qualcomm)
    - ・アイデア量産体制の事例 (3M, Google)
  - (2) フレームワーク
    - ・シナリオ・プランニングによる顧客価値文書化 ・他社製品の情報収集
    - ・シナリオ・プランニングによる準備 ・3C、STP+4P
    - ・5FORCES ・PEST ・バリューイノベーション
- 自由度とミドルマネジメントの役割
  - (1) 〇〇%ルールの裏側 (2) 無駄な業務の削減
  - (3) 従来必要だった業務の外注化 (4) 時間的な余裕・自由
  - (5) 発言の自由 (6) 雰囲気
  - (7) 不確実性のマネジメント (8) 自由による成果を刈り取る体制
  - (9) 理由を問わない
- ノーインプット、ノーアウトプット
  - (1) セミナー支援・奨励・強制 (2) 書籍購入支援・奨励・強制
  - (3) 外出支援・奨励・強制 (4) 遊び支援・奨励・強制
  - (5) 学び支援・奨励・強制
- 経営幹部の役割と革新的なテーマ
  - (1) 量産体制のあり方に関する理解と部下指導
  - (2) 「なぜ」を追求する方向性 (マクロトレンドに遡る)
  - (3) 成長する企業の仕組みの理解と部下指導
  - (4) アイデア量産体制と開発マネジメント (5) 採用による選別
  - (6) 教育・育成 (7) 制度マネジメント
- 開発マネジメント法
  - (1) ステージゲート法概要 (2) ステージゲート法の本質
- ロードマッピング
  - (1) ロードマッピングとステージゲート法の一体運用
  - (2) ロードマップの本質 ～社会・市場・商品・技術ロードマップ～
- まとめ
  - (1) 自社にあった組織体制とは?
  - (2) 俯瞰力の向上～エンジニアの視点を上げさせる～
  - (3) チェックリストの提供

17:00

※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。